

2008年7月1日

文部科学大臣
渡海 紀三朗 殿

とりつ おせっ会 代表 石山 久男
連絡先 目黒区中央町1-14-16 中村正子方
Tel & Fax 03-3713-3172

教科書検定制度に関する要望書

昨春以来「沖縄戦における集団自決は日本軍の強制でない」という貴省の歴史的事実と反する検定意見に対し、沖縄県民は舌鋒するどく抗議の大きな声を上げました。この検定意見の撤回を求める運動は、たちまち多くの人々の支持を得て燎原の火のように全国に広がりました。

全国的に大きな社会問題となった結果、文科省はこの検定により書換えさせようとした記述の訂正を認めざるを得なくなりました。が、前記検定意見は撤回しませんでした。

従って、検定制度の本質的問題はまだ解決されていません。

貴職は本年夏までに検定制度を見直す、と声明していますが、私どもはこれらについての“おせっかい”として次のとおり要望いたします。

記

1、検定の情報公開を徹底すること

検定申請図書を申請時から公開することはもとより、検定審議会の審議内容を部会、小委員会も含めて情報公開すること。また、検定の結論が出ていない状況にあっても、その論議をされた会合毎の議事録を直ちに情報公開すること。

また、傍聴を認めること。

2、検定手続きの民主化の徹底

従来の高圧的で官僚化した手続きでなく、検定問題の議論が双務的、民主的に執行され執筆者の意見が尊重されるような手続きに改めること。

3、教科用図書検定調査審議会（検定審議会）の機能独立の確保

検定審議会は、その目的をはたすために文科省から独立し、言論、学問の自由のもと学識良識に基づく自由闊達な議論を保障すること。

以上

*「とりつ おせっ会」とは、日本の教育、および都立中高一貫校なかんずく都立大学附属高校から移行した桜修館中等教育学校の教育について考え、提言することをめざす、都立大学附属高校卒業生・元教職員・父母有志の会です。